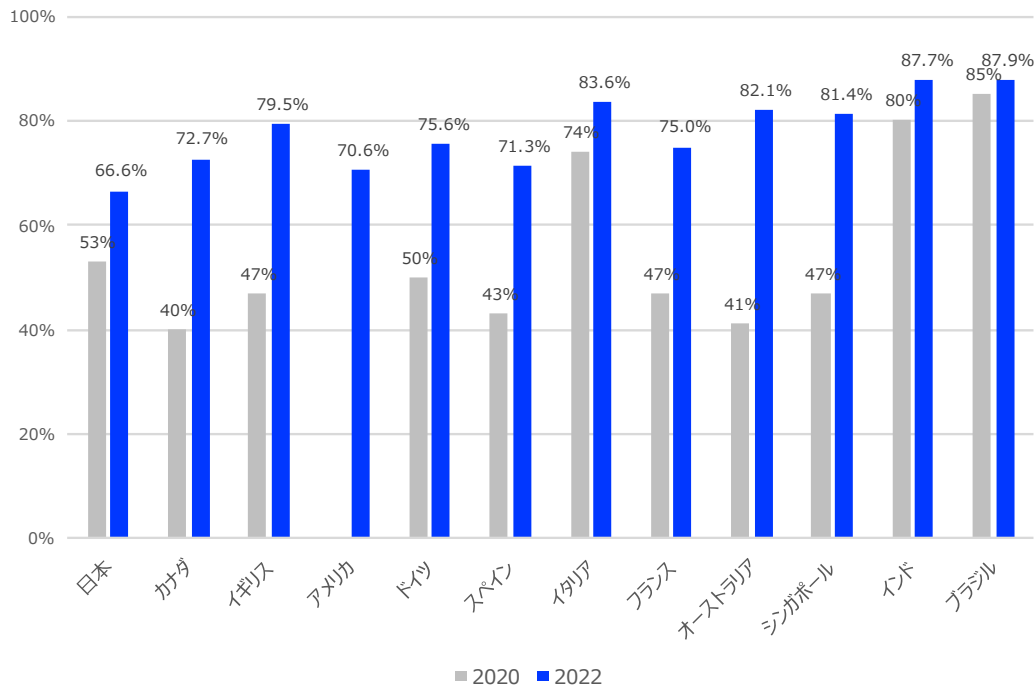


## 情報過多時代における実態調査 日本人の約7割が「毎日確認する情報源がこの2年間で増えた」と回答 「情報過多によるストレス」の存在が浮き彫りに

OpenText (NASDAQ : OTEX、TSX : OTEX、日本法人：東京都千代田区、代表取締役社長：反町浩一郎) は本日、「情報過多時代における実態調査」の結果を発表しました。本調査は、情報過多時代での仕事における影響や課題を明らかにすることを目的として、OpenText が本社を置くカナダに加え、日本と欧州、北米、南米、アジア地域など12か国で実施され、日本では2,000人を対象に実施されました。今回の調査の結果、日本人の約7割(66.6%)が、電子メール、ニュースフィード、SNS、会社の共有ドライブなど、「毎日確認する情報源がこの2年間で増えた」と回答し、約4割(40.8%)が「仕事に必要な情報がさまざまなウェブサイト、ファイル、アプリに散在していて探すのが難しい」と感じると回答しました。

### 毎日確認する情報源がこの2年間で増えた回答者の割合



※2020年版は、「5年間」で調査  
※アメリカは2020年版の調査対象外

opentext

日本人の37.5%が毎日6~10個のアカウント、アプリ、ツールを使用しており、13%の人はさらに多い11~15個ものアカウントやツールを利用していると回答しました。これは、2020年に行った調査と比べ、それ

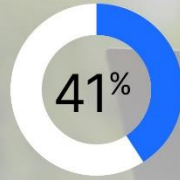
ぞれ 13.5%と 7%増加しています。この現状に対して、約 3 割（27.3%）が「データソース/アプリが多すぎて毎日チェックするのが大変」と感じていることが明らかになりました。

## 情報過多によるストレスが浮き彫りに：

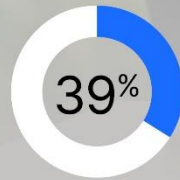
過去2年間で、増加する情報量とデータ管理に対する日本人の意識はどのように変化したのでしょうか？



電子メール、ニュースフィード、SNS、会社の共有ドライブなど、「毎日確認する情報源がこの2年間で増えた」（2020年より13%増加）



仕事に必要な情報がさまざまなウェブサイト、ファイル、アプリに散在していて探すのが難しいと感じる



仕事関連の情報量の多さがメンタルヘルスやストレスに悪影響している

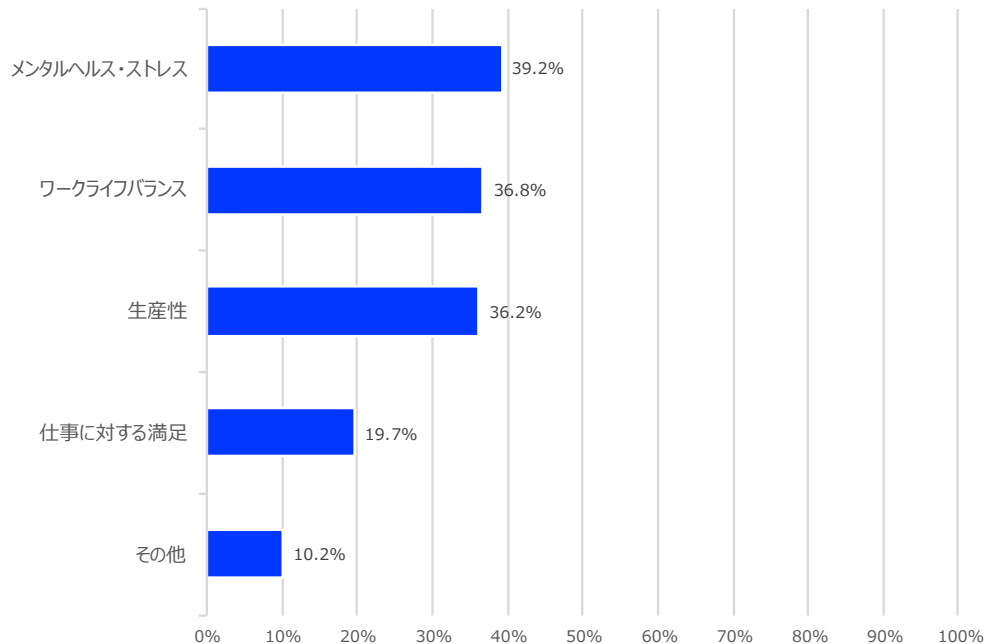
opentext™

### 仕事においても、情報過多が原因でメンタルヘルスの不調やストレス増加

本調査によると、日本人の約 4 割（40.8%）が「仕事に必要な情報がさまざまなウェブサイト、ファイル、アプリに散在していて探すのが難しい」と回答したことがわかりました（調査対象国の平均：42%）。特定のファイルや情報を探すのに要する時間で見たとき、45%が 1 時間以上、そのうち 7.2%が 3 時間以上使っている現状も明らかになりました。

## 仕事関連の情報量の多さによって悪影響を受けているものはどれですか？

(複数回答可)



opentext

日本人の約 5 人に 2 人（39.2%）が、こうした仕事関連の情報量の多さがメンタルヘルスやストレスに悪影響していると回答しています。また、リモートワークやハイブリッドワークの普及によって情報管理が複雑化し、約 3 割（29.0%）が「在宅勤務の場合は、オフィスにいるときと比べて、会社のファイルシステムやコンテンツに安易にアクセスできない」、26.6%が「在宅勤務の場合は、オフィスにいるときと比べて、同僚とファイルを共有したり、連携したりすることが安易にできない」ことを課題に感じています。これらのことから、リモートワークやハイブリッドワークによって増加した情報源が、生産性や精神面に影響し、対策を取らなければ状況はさらに悪化し「負のスパイラル」に陥るリスクが考えられます。

さらに、多くの企業で効果的な情報管理ツールを導入していないことを受け、社員が自ら対策を講じるようになってきました。例えば、日本人の半数以上（54.9%）が、会社から使ってよいと言われたかどうかにかかわらず、仕事上のファイル共有に個人用ファイル共有サービス（OneDrive、Google Drive、Dropbox など）を使っていることが分かりました。さらに、そのうちの 3 分の 2（68%）は、セキュリティリスクが高いにもかかわらず、会社にそれを禁止するポリシーがないと考えているため、利用していると回答しています。

### 統合された情報管理プラットフォームの重要性が明らかに

オープンテキスト株式会社 代表取締役社長である反町浩一郎は、次のように述べています。「今回の調査結果から、大多数の日本人が、日々触れる情報源の増加に伴うストレスに悩まされていることが明らかになりました。リモートワークやハイブリッドが社会に定着してきた今こそ、お互いの業務を可視化し、質の高いデータを一

元的に管理することが急務です。当社が提供するソリューションは、情報へのアクセスを向上させつつ確実にガバナンスも改善します。情報のサイロを解消して、業務プロセスを円滑にすることで、ビジネスの生産性を向上させ競争力を高める、データの利活用を推進いたします。」

## 調査方法

本調査は、OpenText が [3Gem](#) に委託し、2022 年 3 月に日本、イギリス、アメリカ、ドイツ、スペイン、イタリア、フランス、オーストラリア、カナダ、シンガポール、インド、ブラジルの 12 か国にて実施されました。日本では 2000 人を対象に調査を行いました。

## OpenText Japan Blog:

情報ガバナンスははじめの一步。実行に向けた準備と体制づくり

<https://blogs.opentext.jp/information-governance-first-steps-jp/>

### ■ オープンテキストについて

オープンテキストは、ビジネスに不可欠な情報やプロセスを効率的に処理・自動化し、情報のハブとして活用できるソフトウェア & クラウドサービスを提供する企業です。ビジネスコンテンツ & プロセス管理をはじめ、B2B/EDI データ連携サービスや FAX ソリューション、Web & デジタルメディア管理、フォレンジック・セキュリティや AI を用いた各種の分析・可視化など、多種多様な業界・業種のお客様へ最適なソリューションを提供しています。

オープンテキスト株式会社ウェブサイト <https://www.opentext.jp>

### <本件に関するお問合せ先>

OpenText グループ / オープンテキスト株式会社

マーケティング部 柳沢・竹ノ内

Tel: 03-4560-7704

Email: [otj-pr@opentext.com](mailto:otj-pr@opentext.com)

OpenText グループ / オープンテキスト株式会社 広報代理

ホフマン ジャパン株式会社 上江・松田・田中

Tel: 03-5159-5750

Email: [OpenTextJP@hoffman.com](mailto:OpenTextJP@hoffman.com)

Certain statements in this press release may contain words considered forward-looking statements or information under applicable securities laws. These statements are based on OpenText's current expectations, estimates, forecasts and projections about the operating environment, economies and markets in which the company operates. These statements are subject to important assumptions, risks and uncertainties that are difficult to predict, and the actual outcome may be materially different. OpenText's assumptions, although considered reasonable by the company at the date of this press release, may prove to be inaccurate and consequently its actual results could differ materially from the expectations set out herein. For additional information with respect to risks and other factors which could occur, see OpenText's Annual Report on Form 10-K, Quarterly Reports on Form 10-Q and other securities filings with the SEC and other securities regulators. Unless otherwise required by applicable securities laws, OpenText disclaims any intention or obligations to update or revise any forward-looking statements, whether as a result of new information, future events or otherwise.

Copyright © 2022 OpenText. All Rights Reserved. Trademarks owned by OpenText. One or more patents may cover this product(s). For more information, please visit <https://www.opentext.com/patents>.